

令和3年度 学習支援計画書

授業科目区分	科目名 [英文名]		単位	N	S	M
教職専門科目	発達と学習の心理学 [Psychology of Learning and Development]		2			
授業形態	担当教員名			科目コード		
講義・ アクティブ・ラーニング	高橋 勇一			NS-T2141		
この授業に関する資格及び含めることが必要な事項						
教員免許（保健体育、栄養教諭） ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程						
この授業のキーワード		授業概要				
1	発達と発達課題	幼児、児童及び生徒の心身の発達はどのようになされるか、発達に影響を及ぼす要因、各発達段階の特徴、発達課題等について概説する。また、学習に影響を及ぼす要因、学習の動機づけ、集団づくり、学習評価のあり方等について、教育実践に役立つ内容を学習する。				
2	学習のメカニズム					
3	発達と学習の理論					
学習の到達目標						
1.発達の過程及び特徴について理解する。2.学習のメカニズムを理解する。3.発達と学習の諸理論について理解する。以上の3点を基に、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解する。						
回	テーマ	授業内容				AL
1	発達について	教育心理学・発達と学習について				
2	心と記憶	心と脳、記憶のしくみ、忘却、メタ認知など				○
3	発達に関する諸理論	発達段階と発達課題、ピアジェ、エリクソンの発達理論				
4	幼児期の発達	乳幼児期の特徴、運動発達・言語発達、愛着（アタッチメント）など				
5	学童期の発達	学童期の特徴、認知発達・社会性の発達、「9（10）歳の壁」				
6	青年期の発達（1）	青年期の特徴、自我の芽生え、反抗期、アイデンティティ				
7	青年期の発達（2）	思春期学、10代の脳と心、職業選択について				
8	生涯発達	ライフサイクル、運動発達・認知発達・社会性の発達、未来予想など				
9	知性・パーソナリティ	人間（ヒト）の知性、パーソナリティの発達について				
10	学習意欲	動機づけ、期待効果、学習結果の振り返りなど				○
11	学習理論と学習方法	学習理論、学習方法、学習形態など				○
12	学習評価	評価の理論と方法、評価の活かし方				○
13	発達障害と学習	発達障害に対する理解と学習支援など				○
14	学級集団と人間関係	学級集団、人間関係と測定法、リーダーとフォロワー				○
15	総合・まとめ	発達を踏まえた学習支援・学習指導、振り返り学習				
試験等	なし					
教科書及び参考図書						
参考図書・参考資料等 和田万紀 編『Next 教科書シリーズ 教育心理学』弘文堂、外山紀子・外山美樹 著『やさしい発達と学習』有斐閣 アルム、安藤寿康・鹿毛雅治 編『教育心理学』慶応義塾大学出版会 ※ 授業中に適宜資料を配付する						
準備学習・事後学習						
準備学習（週 1.0 時間）：書籍（参考図書）やインターネット・配付資料等を通して、予習をしておくこと。 事後学習（週 2.0 時間）：授業の内容をよく復習するとともに、生きた知識として活用し、さらに探究の学習を行うこと。						
課題に対するフィードバックの方法						
課題などにコメント等を入れて返却する。						
成績評価の目安と方法						
授業参加態度・小レポートの内容 50%、授業内課題 50%						
評価	成績評価別の到達度					
S	発達と学習の心理学についての知識を身につけ、十分に理解を深め、教育実践に応用できる力を身に付けている。					
A	発達と学習の心理学についての知識を身につけ、十分に理解を深めている。					
B	発達と学習の心理学の概略について概ね理解している。					
C	発達と学習の心理学の概略について最低限は理解している。					